

## 幻聴妄想かるた

解説冊子+CD「市原悦子の読み札音声」  
+DVD「幻聴妄想かるたが生まれた場所」付

ハーモニー(就労継続支援B型事業所)＝編著

定価2415円(本体2300円+税5%)  
医学書院 ☎03-3817-5657



私は自己免疫疾患系の難病患者であるので、正直、精神障害をもつ人の苦しみや困っていることというのは経験則の範疇でしかない。代弁などできないと思う。私も「妄想」についてはなかなかいい線を描いている気がする。しかし重要なポイントである「幻聴」を聴いたことはまだない。惜しい。

精神障害を持つ人たちにとって、「幻聴」や「妄想」は、空気のようなものなのかもしれない。当たり前すぎて、言語化する必要性をあまり感じないのだと思う。「言葉にしてほしい」というのはむしろ、幻聴力も妄想力もイマイチ不足し、

脳みそがすっかり固くなってしまった、凡庸な日本社会の側の願望なのかもしれない。近年、精神障害の領域を中心に「当事者研究」の試みは各地に広まっている。この「幻聴妄想カルタ」は、東京・世田谷区にある精神障害者の人たちのための作業所、「ハーモニー」の当事者研究から生まれた。フリーダムすぎるメンバーによって制作された、ワンダーホーなカルタである。

カルタであるから、遊ばなくては意味がない。しかし私は1人暮らしだ。1人でカルタを読み上げ、1人でカルタ取りをするなど、ご近所に不審だと思われるに違いない。うっかりヘルパーさんに目撃されたら、「ああ、更紗ちゃん、ついに……」と誤解されてしまう。しかし、このカルタは私のような独居者にもやさしい配慮がされている。付録に、あの大女優、市原悦子さんによる読み上げCDが付いているのだ。CDプレーヤーに読み上げ役を任せて、何枚か札を取ってみた。

「ヘリコプターとジェット機は アメリカ軍諜報機関 監視されている」。根拠は全くないが、超重要人物になった気がしてきた。

「うたがわれ 続けて 20年」。20年もうたがわれ続けるなどと、ずいぶんと熱

心なファンがいるものである。

「まい日 金縛り状態」。私も毎日身体じゅう痛むので、「そうそう!」と思わず興奮して札を握りしめてしまった。気分がすつとするいい札だ。

このカルタの箱を開けて、付録のDVDを観たり、解説書を読むのももちろんためになる。「精神障害のかたの気持ちを理解しなければ」とか、「社会的に弱い立場におかれている方々のホッペを学びたい」という崇高な志を十二分に満足させてくれる、書籍としてもすぐれたものであると思う。

しかし、あくまでカルタなのだ。繰り返しになるが、遊ばなくては意味がない。ご家族、ご友人、彼氏彼女と仲良く輪を囲み、このわけのわからない意味不明の不審すぎる言葉の数々を読み上げることには醍醐味がある。

肩の力を抜いて、大きな声で、幻聴妄想カルタを読み上げよう。頭はさらに混乱し、わけがわからなくなり、そしてついには「ぶつ」と笑ってしまう。さっきまで自分の心をごんじがらめにしていた憑き物をおとしてくれる。これぞ、激動の2012年新春にふさわしき、正統派カルタである。